

熱意発信 起業後押し

前橋 G I A受賞4人トークセッション



ビジネスプランを紹介するサディアさん
(中央)と星野さん(中央右)

スタートアップが自発的に生まれやすい土壌をつくらうと、県は28日、前橋市のけやきウォーク前橋で、起業家発掘プロジェクト「群馬イノベーションアワード(GIA)」受賞者4人のトークセッションを開いた。豊かな発想と行動力に基づいた各自の取り組みを紹介し、起業を目指す人の背中を推した。

GIA2023で高2年の星野十夢^{しゆむ}さん
校生以下の部の部門賞(17)、大賞に輝いた東
を受賞した伊勢崎商業 京大4年の加藤徳明^{とくあき}
高3年のターイーバ^{たーいーば}さん(25) 榎東村出身、
サディアさん(18)と同 GIA2022大賞で

エリー(東京都新宿区)社長の梶栗隆弘^{かじり たかひろ}さん(37) 前橋市在住 登壇。2022ファイナリストのフリーアナウンサー、奈良のりえさんが司会を務めた。4人はこれまでの経験や今後の展望、課題などを語り合い、意見交換した。

アさんは大学進学後に起業する考えで、「自信とやる気を持って取り組むと、自然と成長できる」とエールを送った。星野さんは「誰かをサポートする立場に回りたい」と、将来像を描いた。

加藤さんは本県で、クルマエビ養殖と野菜栽培を組み合わせた農法に取り組んでいる。梶栗社長は機能性に優れた絹を生み、環境負荷も少ない同社の養蚕事業を説明した。

イベントの様子は後日、県公式ユーチューブチャンネルで配信される。

(須永彪月)

サディアさんと星野さんは、しょうゆ醸造過程でできる「しょうゆ粕^{かす}」が肌に良いことから、男性向け化粧品に活用するという受賞プランを解説。サディ